

授業科目名	地域精神看護学		担当教員	◎中島 洋一、田中 美恵子、 松丸 直美、三井 健治	科目ナンバリング NE415
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

### 【授業概要】

精神的な健康問題の評価方法や、地域精神保健福祉の制度・システム・資源についての理解を踏まえ、精神保健上の問題を抱える人々の生活自立と社会参加の支援に向けて、多職種チームの果たすべき役割、並びにその中で看護職が担うべき役割について学ぶ。

### 【授業目的・目標】

1. 生活者の精神保健を包括的に評価するための方法について学ぶ。
2. 地域精神保健福祉の制度・システム・社会資源について学ぶ。
3. 多職種連携による地域包括ケアにおける看護師の役割について学ぶ。
4. 家族関係をめぐる精神保健と家族問題への介入方法について学ぶ。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

[01] 地域における精神保健と精神看護	(中島・松丸)
[02] 地域で生活するための原則	(中島・田中・松丸)
[03] 生活を支えるための社会資源・サービス	(中島・田中・松丸)
[04] 精神障害者の訪問看護	(田中・中島・松丸・三井)
[05] 精神障害者のための地域包括ケアシステムの実際	(松丸・田中・中島)
[06] 精神科デイケア(S S T)	(中島・田中・松丸)
[07] グループワーク・まとめ	(中島・田中・松丸)
[08] まとめ・発表	(中島・田中・松丸)

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

1. 太田保之(2014). 学生のための精神医学、医歯薬出版株式会社
2. 田中美恵子(2015). 精神看護学、医歯薬出版株式会社
3. 田中美恵子(2009). 精神障害者の退院支援計画と地域支援、医歯薬出版
4. 谷中輝雄 小宮敬子他編集(2000). 障害者・精神保健地域看護活動、医学書院
5. 萱間真美(2020). 精神科訪問看護テキスト、中央法規出版

### 【評価方法・評価基準】

授業参加リフレクティブレポート30%、課題レポート70%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：精神科入院治療と地域精神保健活動の関連について調べておく。

事後学習：授業で取り上げる6つのテーマの内、関心のあるテーマについて課題整理を行う。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅶ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業参加リフレクティブレポート、及び課題レポートについて授業時間中にフィードバックを行う。

### 【備考】

精神保健看護学概論、精神保健看護援助論の他に、在宅看護学Ⅰ、地域看護学とも関連が深いので、共通の課題が明確にできるように学習を積み重ねて欲しい。

遠隔授業にて講義を実施する場合は追って連絡する。